

# 道草だより

兵庫医科大学保健管理センター  
職員相談室 2023年 2月号

暦の上では春を迎えました。まだ寒い日も続きますが、皆さまお元気でいらっしゃいますか。もうすぐ花の季節だと思えば、なんだか楽しみです。

また、日本には2000以上の風の名前があると言われていますが、『春一番(はるいちばん)』は立春から春分の間初めて吹く風、『花信風(かしんふう)』は花が咲くのを知らせる風で、うららかに晴れた春の日に吹くそよ風のことです。仕事をするときに風の影響を受けやすい農家の方や漁師さんたちが名づけたものが多いそうですが、そのネーミングセンスの良さに感心しますね。



参考文献: 大切にしたい、にっぽんの暮らし。  
さとうひろみ サンクチュアリ出版



ストレスチェックも終わりましたが、みなさまはどんなストレス対処法をお持ちでしょうか。私はここ数年の自粛生活の中で、自宅で映画を見たり読書をしたりと静かな時間を過ごす楽しみを見つけることができました。

今回は、最近読んで心がほぐれた本をご紹介します。

## 『このやさしき大地』 2022 ウイリアム・ケント・クルーガー 早川書房

物語は、アメリカのギレアド川の土手で始まり、終わりは人生の旅路の果てにギレアド川のほとりで幕が閉じます。

オディ・オバニオンと仲間のさすらい人の4人は1932年、カヌーを漕いでミネソタからセントルイスを目指します。時代背景は大恐慌真っ只中、この4人は孤児になってしまった思春期の少年3人と小さな少女1人です。4人がわが家を求め、旅で出会う多彩な人との関わりを通し、それぞれの心の旅路を歩みます。この物語は、私たちはひとりではないこと、そしてあらゆる可能性に心を解き放つことの大切さを教えてくれます。過酷な境遇の中で頑張って生き延びようとする少年たちの姿や、けんかもしながらお互いを尊重し合う姿に心打たれました。本の中では、傷つきながらも生きることに一生懸命である人々の姿があり、読んだ後はさわやかな一陣の風が通過したような気持ちになりました。そしてその後に温かいものがこみ上げてきました。

もう一度思春期の頃の自分に帰り、少年たちと共に旅ができたように思います。地元の図書館で借りて、あっという間に読み終わりました。



TEL/FAX: 0798-45-6121 (内線6121) IP(86601)

メールアドレス: shoku-so@hyo-med.ac.jp

相談員 原田 久仁美

